

みえ市民活動・ボランティアニュース

2012

10

ひろげる つなぐ かえる

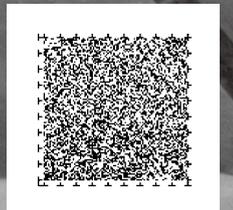
2012年9月25日発行
通巻166号



熱中手帖。-これまで×これから- vol.4

特定非営利活動法人
パフォーミングアーツネットワークみえ
代表理事 油田 晃

下の模様はSPコードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



熱中手帖。

-これまで×これから- vol.4

演劇は人生を豊かにし、
生きていく力になる

特定非営利活動法人

パフォーミングアーツネットワークみえ

代表理事 油田 晃

劇場に社会性を持たせ、人と人をつなげたい NPO 法人設立のきっかけを教えてください。

大学時代から演劇に関わっており、2006年に「津あけぼの座」（以下：あけぼの座）という劇場をオープンしました。運営自体は今年で6年目ですが、NPO 法人としては2011年に認証をいただいたところです。

あけぼの座は、オープンしてから最初の3年くらいは劇場としてあまり機能していませんでした。劇場をどう使って良いのか分からない部分もあったので、あまり開かれた場所とは言えませんでしたね。

2009年に、私が大阪大学で場作りの手法を学ぶに行く機会があったのですが、そこで関西の劇団の方々との縁が生まれ、あけぼの座にお呼びして公演を開いたりもしました。その頃から、三重県文化会館（以下：県文）さんが呼ぶ演劇のワークショップをあけぼの座が受け入れることになり、連携の形が出来上がっていきました。

あけぼの座はおよそ50席の劇場ですが、もう少し大きめの劇場空間が必要となってきたので、二つ目の劇場として、四天王会館で「津あけぼの座スクエア」をオープンさせようということになりました。

二つの劇場を管理していくわけですから、5年10年と続けなきゃいけない。それなら、きちんとした法人格を持って運営するほうが良いと思いましたし、劇場を「人と人をつなげる場」にしたいと考えていましたので、NPO 法人として劇場を運営することで、社会性を持たせることができるのでは、と考えたのが設立のきっかけですね。

昨日よりもっと楽しく生きてみようと感じてもらおう

ZENCAFEをはじめ、活動内容について教えてください。

劇場は不特定多数の人が催事を見に来る場ですから、「劇場として社会性を持たせなあかん」という使命がありました。そのためにはどうすれば良いの

かを考えていた時に、東京のお寺の本堂で開催されていた“トークカフェ”を知り、それをヒントに「ZENCAFE」を始めたんです。劇場にいろんな価値観を持った人が集まって、テーマを元に「わいわいと意見を交わしましょう」というものなのですが、これが、劇場にさまざまな人が集まる場を提供し、社会性を持たせることにつながり、また、演劇を知ってもらうためのPRにもなりました。

演劇って観る人の好みにもよりますが、一度つまらない作品だと思ってしまうと、一生遠ざかってしまうくらいの力を持っているんです。でもその逆もあって、何百億円もかけたハリウッド映画よりも、目の前の舞台に心を動かされる人もいます。これが、生ならではの面白さなんですよ。だから、三重に劇団を呼ぶ時は、「三重の人たちが見て面白いかどうか」を自分の目で判断するために、全国各地の劇場まで公演を見に行ったり、実際に劇団の皆さんとお会いして交渉しています。

舞台芸術というのは人生を豊かにし、昨日よりも楽しく生きてみようと感じさせるきっかけになるものだと思います。演劇を見てくれる人には、そういう部分をアピールしていきたいですね。

こうした演劇の生の魅力をもっと市民の皆さんに身近に感じてもらおうと、昨年、「M-PAD2011」というイベントを県文さんと共同開催しました。津市内の飲食店や寺院を舞台に、おいしい料理と、俳優たちが古典や名作を読む“リーディング”を一緒に楽しんでもらおうという公演です。

これが非常に好評でしたので、今年は2週間にわたって「M-PAD2012」として6劇団10公演と、公演数を倍以上に増やしました。舞台芸術と飲食店がタイアップすることで、演劇に親しみのない方でも気軽に見ていただけます。ぜひ、生ならではの魅力をたっぷりと感じ取ってほしいですね。

たくさんの仲間と「舞台芸術文化のまち・津」を築く

今後の展望についてお聞かせください。

現代社会ではコミュニケーション能力が大事だと言われていますが、実は演劇ってこの力を磨くのに最適なんですよ。

人は「伝わらない」という体験を重ねないと「伝える」力が上がりません。想いが相手に伝わらない体験をすることで、より伝えたいという気持ちが生まれて、表現方法を工夫します。なので、県内各地の学校に呼ばれてワークショップをする時には、対話劇などを通して伝える力を高める「表現教育」を実践しています。

将来的には、役者を「コミュニケーションティーチャー」として教育現場で活躍させたいと考えています。役者って「今何が求められていて、その先に必要なものは何か」というのを感じ取る力が高いんですよ。だから、教育の現場で演劇を通して、子どもたちの能力を彼らが高めることで、役者の力を地域に還元することができるんですよ。

また、子どもたちに表現することの楽しさを伝えることは、次の演劇の担い手づくりにもつながります。県外から劇団を呼ぶだけでは、三重から発信できませんから。

三重に演劇の創り手が増えれば、次の展望にもつながります。今後は、仲間や創り手を増やしながらか「舞台芸術文化のまち・津」と言えるくらいにしていきたいですね。



昨年開催の M-PAD2011

DATA

特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ

住 所 〒514-0008
三重県津市上浜町3丁目51番地
T e l 059-222-1101
F a x 059-222-1109
E - m a i l info@pan-mie.org
info@akebonoza.net
ホームページ http://pan-mie.org
http://akebonoza.net/

代 表 者 代表理事 油田 晃
団体設立年月日 平成23年8月1日
NPO法人化年月日 平成23年11月15日
会員数(現時点) 15人
年 会 費 正会員 個人10,000円 団体30,000円
賛助会員 個人5,000円 団体10,000円

助成金情報



芸術



環境



まちづくり



子ども



国際

芸術

東日本大震災

芸術・文化による復興支援ファンド (GBFund)

受付期間 10月26日(金) 当日消印有効

対象団体 ①アーティストや芸術団体などの文化関係者に限らず、芸術愛好家や地域の伝統芸能の担い手など幅広い芸術・文化活動を行う市民・団体

②当協議会の事務局による情報収集・調査もあわせて行い、第三者から推薦された個人・団体等

対象活動 ①被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動(表現方法・形態は不問)

②被災地の有形無形の文化資源を再生していく活動

③その他、当ファンドの目的に合致すると判断される活動

※被災地での実施の有無不問

※もっぱら復旧・救援を目的とした活動は対象外

助成金の額 ひとつの活動につき、原則として50万円を上限。

(他の助成金等との併願も可能)

応募方法 HPより申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、メール添付または郵便にて送付。

※詳細はHP参照

問合せ先 公益社団法人企業メセナ協議会「芸術・文化による震災復興支援ファンド」係

〒108-0014 東京都港区芝5-3-2 アイセ芝ビル8階

Tel 03-5439-4520 Fax 03-5439-4521

メール gbfund@mecenat.or.jp

HP <http://arts-fukkou.blogspot.jp/>

環境

「花王・みんなの森づくり」活動助成

受付期間 10月31日(水) 当日消印有効

対象団体 ①身近な緑を守り、育てる活動(以下、「森づくり活動」)に取り組んでいる団体

②身近な緑を活用し、子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動(以下、「環境教育活動」)に取り組んでいる団体

対象活動 ①「森づくり活動」…植樹や樹木の監理、里山や雑木林などでの保全と復元活動など

②「環境教育活動」…植樹や植花体験活動、里山や雑木林などでの間伐や下草刈りなどの保全体験活動など、子どもたちが環境を大切に考える心を育む活動

助成金の額 1年目50万円、2年目50万円、3年目25万円を上限とし、15~20団体を予定

応募方法 HPより申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の資料を添付して郵送。

※詳細はHP参照

問合せ先 財団法人都市緑化機構「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2

新神田ビル8階

Tel 03-5256-7161 Fax 03-5256-7164

メール midori.info@urbangreen.or.jp

HP http://www.kao.com/jp/corp_csr/social_activities_00_00.html



環境



まちづくり

「第23回コメリ緑資金の会」助成

受付期間 10月31日(水) 必着

対象団体 営利を目的としない法人・団体に限る

対象活動 コメリの出店地域における花や緑に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした公共性のある植栽・植樹などの緑化活動

助成金の額 個々の団体の活動規模、活動予算に応じた額を申請

応募方法 HPより申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、平成23年度収支決算書、平成24年度予算書および指定の補足資料を添付して郵送

※詳細はHP参照

問合せ先 株式会社コメリ「コメリ緑資金の会」事務局

〒950-1492 新潟市南区清水4501-1

Tel 025-371-4112(早川・星野)

Fax 025-371-4151

メール midori@komeri.bit.or.jp

HP <http://www.komeri.bit.or.jp/environment/greencapital/apply/index.html>



まちづくり

2013年度「県域安全事業」助成

受付期間 10月31日(水) 必着

対象団体 公益社団・財団法人、一般社団・財団法人、NPO法人、および法人格は有しないが、助成対象事業を実施するための体制を有すると当財団が認める団体

①下記「対象活動」のいずれかに該当する事業を過去3年以内に実施した実績を有すること

②定款、寄附行為または規約等を有し、団体としての意思を決定し執行する能力を有すること

③団体を代表する者についての定めがあること

④団体としての適正な経理機能を有していること

対象活動 ①地域社会との連携による安全・安心なまちづくり

②子どもの安全対策 ③女性を守る対策 ④高齢者を守る対策

⑤少年の非行防止と健全育成 ⑥組織犯罪対策

⑦薬物銃器対策 ⑧犯罪被害者支援

⑨その他犯罪情勢に対応した対策

※詳細はHP参照

助成金の額 1件当たり100万円

応募方法 HPより助成金交付申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、団体概要など指定の書類を添付して宅配便、簡易書留など配達記録が残る方法で提出

問合せ先 財団法人社会安全研究財団事務局(安全事業助成募集係)

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-8

大手町佐野ビル6階

Fax 03-3219-2338

メール anzen13@syaanken.or.jp

HP http://www.syaanken.or.jp/?page_id=3584

※「広域安全事業」助成も同時募集中。詳細はHP参照



子ども



国際

平成25年度子ども国際交流活動助成

受付期間 10月31日(水) 必着

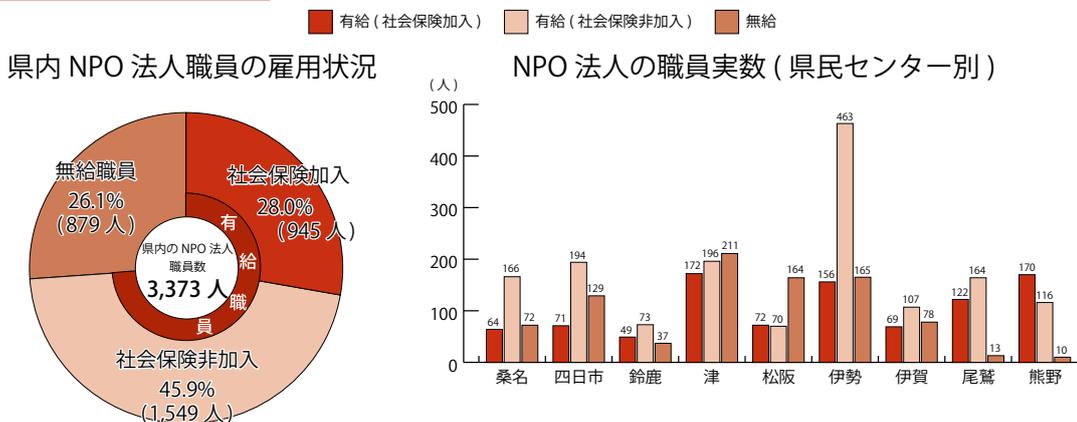
三重県 NPO 法人活動実態調査報告 4

II 調査結果

(3) 組織運営体制

今月号は「組織運営体制」の中から、NPO 法人で働いている職員に関する項目を抜粋して紹介いたします。

NPO 法人で働く職員数について



2012年3月現在、三重県内のNPO法人全体では3,373人が職員として働いています。このうち、73.9%にあたる2,494人が有給職員として働いており、残りの26.1%にあたる879人が無給職員として働いています。社会保険に加入している職員は、全体の28.0% (945人) であり、有給職員2,494人の中で37.9%にとどまっています。

県民センター別で見た場合、職員数が最も多い地域は伊勢、続いて津です。有給職員の割合が多い地域は熊野、尾鷲で、無給職員の割合が多い地域は松阪となっております。

NPO 法人で働いている職員全体の年収について

2012年3月現在、三重県内のNPO法人で雇用されている人の年収総額は42億9188万円です。NPO法人で有給職員として働いている人の平均年収は「約172万円」で、月額換算すると約14.3万円という状況です。三重県内のNPO法人の「有給職員」と「無給職員」を合わせた平均年収は「約127万円」であり、月額換算すると約10.6万円です。

今回の調査から、NPOで働く職員は、NPO法人からの賃金だけでは満足な収入を得られていないという現状が浮き彫りになりました。NPO法人が持続的な活動を行うためには、賃金面も含め、雇用されている職員が長く働くことができる環境整備が重要だと言えるでしょう。

次号は、「資金」から抜粋したものを掲載する予定です。

対象団体 下記の要件をすべて満たす非営利の民間団体 (法人格の有無不問)

- ①団体の所在地が日本国内であること
- ②1年以上の活動実績があり、継続して国際交流・国際協力活動を行う意思があること
- ③目的、組織、代表者などの団体運営に必要な事項を定めた会則等があること

対象活動 我が国の教育文化向上に資する事業の一環として、自ら企画・運営して実施し、地域に暮らす海外出身の子どもたちと日本の子どもたちの国際交流を促進することを目的とする非営利の事業・活動

- ①申請団体が主催し、企画、運営、実施を行う事業であること
- ②実施場所が日本国内であること
- ③事業総額が10万円以上であること。ただし、事業

総額の10%以上は自己資金 (団体負担金、参加費など) が入っていること ※詳細はHP参照

助成金の額 10～50万円 (1万円単位)。選考結果に応じて申請額の50～100%

応募方法 HPより申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、団体の会則、役員名簿など指定の書類を添付して郵送 (併せて、申請書はメールにて送信)

問合せ先 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 子ども国際交流活動助成金係
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6

✉ kodomo@nikkyoko.or.jp

HP <http://www.nikkyoko.or.jp/business/education.html#kyouikubunka-jigyou>

✉ E-mail **HP** ホームページ

募集とご案内

平成24年度 JICA ボランティア秋募集

「体験談&説明会」

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア等の募集説明会です。実際にボランティアに参加されたOB、OGの体験談発表や活動紹介ビデオ上映、制度説明などを行います。OB、OGやJICA職員との個別応募相談も実施します。

【四日市会場】

日時 10月8日(月・祝)14:00~16:00

場所 じばさん三重 4階視聴覚室

【津会場】

時間 10月19日(金)18:30~20:30

場所 みえ県民交流センター
交流スペース(アスト津3階)

対象 どなたでも(ただし、ボランティア参加資格は20歳以上69歳までの日本国籍をお持ちの方)

参加費 無料 ※申込不要

問合せ先 独立行政法人国際協力機構(JICA)
Tel 059-223-8003
Fax 059-223-5007
(JICA 三重県デスク 三輪田)

✉ jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

HP <http://www.jica.go.jp/>

歩いて学ぶ歴史講座

いにしへの文化の道「東海道」を訪ねる

徳川家康の「五街道整備」により誕生した「東海道」。商人を中心に多くの人たちが旅した日本の文化と経済の道を訪ねながら歴史を学びます。

講師 堀川 典紀さん 郷土史研究家

【行程】 近鉄内部駅→金比羅宮→うつべ町かど博物館→杖衝坂→血塚社→采女の一里塚→豊富稻荷神社→延命地蔵尊→地蔵堂→北町古墳→式内社大木神社→小澤本陣資料館→佐佐木信綱記念館(歩行距離 約5km)
※佐佐木信綱記念館前から近鉄鈴鹿市駅までバス(200円自己負担)にて移動後解散

日時 10月13日(土)8:10~12:10頃

※近鉄内部駅に8:10集合

※雨天の場合は14日(日)に順延

対象 どなたでも

参加費 無料 ※要申込み

持ち物 水筒、保険証

問合せ先 ずが生涯学習インストラクターの会
Tel 090-8864-0211(一尾)

✉ tka-ichi@mecha.ne.jp

実務に直結。明日から使える。

NPO法人のための会計講座(全4回)

講師 中尾 さゆりさん

(特活) ボランティアネイバーズ

理事・相談事業部長 / NPO 法人会計基準協議会 専門委員

第1回 10月22日(月)

「財務諸表の読み解き方。(1)」

第2回 10月29日(月)

「財務諸表の読み解き方。(2)」

第3回 11月30日(金)

「こう変わりました! NPO 法人会計基準。」

第4回 2月25日(月)

「決算に挑む。」

各回 19:00~21:00

※毎回、講座中に「認定 NPO 法人制度についてのプチ講座」の時間を設けます。

※講座後、21:00~21:30の間、相談・交流会の時間を設けます。(参加自由)

場所 ぴのまちカフェ

(大阪市日野町788カリヨンプラザ1階)

対象 NPO法人の会計担当者・理事・職員の方など

参加費 全4回講座をまとめて申し込みの場合、1,500円

それぞれの講座ごとに申し込みの場合、各講座500円

持ち物 過去3年分の財務諸表(財産目録、貸借対照表、収支計算書)、筆記用具

申込方法 TelまたはFaxにて申込み

問合せ先 (特活) Mブリッジ

Tel 0598-23-8400(福島)

Fax 0598-23-8488

✉ fundraising.matsusaka@gmail.com

なりたいわたしへの一歩がきっと見つかる

「思いをカタチに。プロジェクト」

地域活動、起業、NPO... 興味はあるけど「私にはムリかなあ」そんな思いを「できるかも」へ。セルフコーチングで今の自分、そしてなりたい自分を見つめ直し、カフェ、農業、デザイン、NPO、それぞれの分野で一歩を踏みだした先輩とのカフェトークで、等身大のお話を直接聞いてみませんか?あなたの「一歩」を踏みだすヒントが詰まっている全4回のセミナー!

第1回

日時 11月3日(土)10:00~15:00

「自分を見つめて、なりたいわたしに~セルフコーチング~」

講師 G-Up Coaching 葛巻 直樹さん

第2・3回

日時 11月17日(土)・11月25日(日)

13:00~15:30

「気になるあの人の第一歩~ロールモデルカフェ~」

ゲスト アオゾラカフェ 岩田 理恵さん

津市市民活動センター HAMACHIさん

Sweet Potake 吉川 文さん

pun GRAPHICS 倉田 史佳さん

第4回

日時 12月16日(日)13:30~16:00

「思いをカタチに。~あなたの第一歩~」

講師 ドーンセンター 仁科 あゆ美さん

※詳細はHP参照

場所 三重県文化会館 2階 中会議室
みえ県民交流センターイベント情報コーナー(アスト津3階)ほか

対象 どなたでも

参加費 無料 ※要申込、託児あり

募集人数 20名

問合せ先 三重県男女共同参画・NPO課
Tel 059-224-2225
Fax 059-224-3069

✉ iris@pref.mie.jp

HP <http://www.pref.mie.lg.jp/IRIS/HP/>

三重FPフォーラム2012 in 松阪

これで納得!「ねんきん定期便」の見方と活用法

いつから、いくらもらえるか?

ねんきん定期便の読み解き方をお教えします。

年金とお金の基礎を知り、将来のマネープランをどう立てるか?

年金の知っておくべき知識もご紹介します。

講師 首藤 由之氏

朝日新聞出版「朝日新書」編集長、
「ねんきん定期便」の活用法 著者

日時 11月4日(日)14:00~16:00

場所 松阪市産業振興センター 2・3階
(松阪市本町2176)

対象 どなたでも

募集人数 先着100名(予約不要)

参加費 無料

同時開催 ファイナンシャル・プランナーによる無料相談会(先着12組)
10月31日(水)までにE-mail・Tel・Faxのいずれかで申込み
①13:30~ ②14:30~
③15:30~

「NPO 法人会計基準セミナー」 県内各地で開催

“基礎からわかる！NPO 法人会計基準セミナー”と題して、三重県 NPO 法人会計基準普及啓発事業を県内各地で以下の日程により開催します。多数のご参加をお待ちしております。

地域	日程	時間	会場	各地域での開催協力
津	2012年10月18日(木)	14:00～16:30	みえ市民活動ボランティアセンター	
名張	2012年10月23日(火)	18:00～20:30	名張市市民情報交流センター 会議室	(特活) なばり NPO センター
松阪	2012年11月15日(木)	14:00～16:30	松阪市市民活動センター 会議室	(特活) Mブリッジ
桑名	2012年11月20日(火)	18:00～20:30	桑名市市民活動センター	(特活) みえきた市民活動センター
鈴鹿	2012年11月27日(火)	18:00～20:30	ジェフリーすずか	鈴鹿 NPO サポートセンター
津	2012年12月18日(火)	14:00～16:30	津市まん中交流館 会議・展示室	(特活) 津市 NPO サポートセンター
四日市	2013年1月17日(木)	18:00～20:30	四日市市なやプラザ	四日市市なやプラザ
伊勢	2013年1月22日(火)	18:00～20:30	いせ市民活動センター 北館2階 多目的ホール	(特活) いせコンビニネット
尾鷲	2013年2月7日(木)	14:00～16:30	三重県立熊野古道センター	東紀州コミュニティデザイン
津	2013年2月21日(木)	18:00～20:30	みえ市民活動ボランティアセンター	

講師 南条 七三子 税理士 (東海税理士会鈴鹿支部) **参加費** 無料 **主催** 三重県 **受託** (特活) みえ NPO ネットワークセンター

申込み・問合せ先

電話、Fax、E-mail で受講を希望する地域・日時・氏名・所属・住所・電話番号・メールアドレスをお知らせください。
特定非営利活動法人 市民社会研究所 (金、牧野)

Tel & Fax 059-363-3539 **E-mail** ssk21ww@yahoo.co.jp **HP** <http://mienponet.org/>

問合せ先 (特活) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部
Tel 0120-874-018 (喜畑)
Fax 052-563-4645

E-mail mie_bb@jafp.or.jp
HP <http://www.jafp.or.jp/shibu/mie/>

市民活動講演会

～みんなで楽しくまちづくり～
人生のセカンドステージは、地域のためにみんなと、たのしく、おもしろく、地域の問題、課題を解決できればなおいい。

講師 早瀬 昇さん
日時 11月4日(日) 13:30～15:30
場所 いなべ市員弁コミュニティプラザ
対象 どなたでも
参加費 無料 ※要申込み
問合せ先 いなべ市市民活動センター
Tel 0594-74-5806(辻、近藤)
Fax 0594-74-5834
HP <http://www.city.inabe.mie.jp/>

E-mail **HP** ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました！掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

- 1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- 2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net
Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター 指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくは TEL059-354-7130 (審査部) まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



NPOのための なんでも相談会

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は?職員を雇う時の手続きは?助成金をとりたいけど・・・など、NPOに関するご相談に応じます。

※抽選のため、相談日の1週間前にはお申込みください。

- 【日時】** 2012年10月12日(金) 10:00~11:00
【対象】 NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心のある市民など
【相談員】 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター 理事長 服部則仁
【場所】 みえ県民交流センター(アスト津3階)
【お申込み先】 みえ市民活動ボランティアセンター
 Tel: 059-222-5995 Fax: 059-222-5971
 E-mail: center@mienpo.net

NPO相談



日頃受けている相談内容などから順次、紹介していきます。

- Q** NPO法人会計基準ってなんですか?むずかしいですか?
A NPO法人が使える「会計ルールのひとつ」です。思ったより簡単ですよ。
 昨年6月のNPO法の改正で、NPO法人の計算書類が、「収支計算書」から「活動計算書」に変わりました。ただし、当分の間はいままでの収支計算書でも報告・据置できることになっています。
 受け取った会費や寄付金、事業の実施によって得た収益や、事業実施の費用、法人運営の費用などをのせるのが活動計算書です。NPO法人の「資金の収支」を基本にした収支計算書とちがひ、「資金のうごき」を基本とした活動計算書を使うことで、会員や市民、応援してくれる人たちに、お金の流れでも自分たちの活動を説明し、財政力を知ってもらうのにも向いています。
 「NPO法人会計基準」は、民間の人たちが検討してつくったもので、もともと企業会計をベースにしています。会社で会計をやっているような人ならすぐに理解できますから、身近にそういう人がいたら、その人に会計を手伝ってくれるように頼むのもひとつの方法かもしれませんね。

- 【参考サイト】**
 特定非営利活動促進法の法令等の手引きはこちら(内閣府HPより)
HP https://www.npo-homepage.go.jp/about/201204_kaisei.html
 特定非営利活動法人の会計の明確化に関する研究会の報告書(内閣府HPより)
HP <https://www.npo-homepage.go.jp/data/report28.html>
 NPO法人会計基準協議会
HP <http://www.npokaikieikijun.jp/>

登記事項の変更は、もうお済みですか?

NPO法人の代表権に関する登記事項の変更は平成24年10月1日(月)までに手続きを行わないと、過料(20万円以下)がかかることがありますので、ご注意ください!!
 (2012年8月号 通巻164号 NPO相談Q&A参照)



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

(Monthly Selection)

◆ 千葉県のNPO活動推進に関する年次報告書 ~平成23年度~

編集・発行: 千葉県環境生活部県民交流・文化課
 発行日: 2012年6月

◆ つないで支える。災害への新たな取り組み

編者: 「つなプロ」報告書編集委員会
 発行所: 公益財団法人日本財団
 発行日: 2012年8月15日
 発行元: 株式会社社重紀書房

◆ ROADプロジェクト

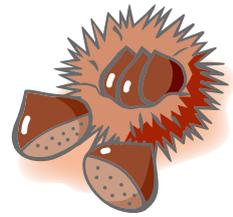
東日本大震災1年間の活動記録
 編集・制作: 公益財団法人日本財団
 発行日: 2012年6月11日

認証した特定非営利活動法人 (2012年8月10日~2012年9月9日認証分)

①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

- ① 特定非営利活動法人 恋する神島
- ② 鳥羽市神島町 85 番地 2
- ③ 保健、まちづくり、地域安全、子ども、その他
- ④ 2012年8月20日
- ⑤ 理事長 小泉 圭吾

- ① 特定非営利活動法人 のぞみ
- ② 伊賀市上野愛宕町 2903 番地
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、人権、子ども、経済活動、職業能力、その他
- ④ 2012年8月20日
- ⑤ 理事長 倉坂 弘



「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細6ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】 (津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇学館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

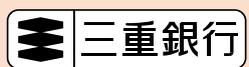
【地域の社会福祉協議会】 県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。